



NEWS RELEASE

報道資料

2009年6月29日

(日本時間)

アプライド マテリアルズと大日本スクリーンが株式会社 SOKUDO の持株比率を変更

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) と大日本スクリーン製造株式会社 (本社 : 京都市上京区、社長 : 橋本 正博) は 6 月 23 日、両社のジョイントベンチャーである株式会社 SOKUDO (以下 SOKUDO 社) の持株比率変更合意を公表しました。本合意に従い、大日本スクリーンはコータ・デベロッパ (塗布現像装置) 事業を営む SOKUDO 社の株式 81% を取得して子会社化し、アプライド マテリアルズの持株比率は従来の 48% から 19% に減少します。新たな持株比率は、現在の両株主による負担の度合いをより正確に反映しています。

半導体製造装置市場の大幅な景気後退を受けて、SOKUDO 社はグローバルな販売・サービス業務を合理化し、現在の事業環境に合わせて効率化を進めます。アプライド マテリアルズは今後とも、自社と大日本スクリーンが共有するお客様へのコミットメントの一環として、SOKUDO 社の経営陣、カスタマーサポート、製品開発を引き続き支援していきます。また、メイダン テクノロジーセンターにおいて SOKUDO 社および大日本スクリーンと緊密に協業しており、この連携を通じて将来的なコラボレーションの機会がさらに広がるものと期待しています。

3 年前にジョイントベンチャーとして設立された SOKUDO 社は、コータ・デベロッパトラック市場において、SOKUDO RF^{3S} システムをはじめいくつかの重要な製品を投入し、確固とした地位を築いてきました。最近では、大日本スクリーンとアプライド マテリアルズの強みを活かし、高い生産性を発揮する世界初のデュアルトラックシステムを採用した画期的な装置 SOKUDO DUO を発表しています。

大日本スクリーン製造株式会社は 1943 年に設立され、ウェーハ洗浄装置、コータ・デベロッパトラック装置、次世代フラッシュアニール装置などを専門とし、半導体製造装置サプライヤー上位 10 社のうちの 1 社となっています。同社株式は東京・大阪証券取引所に上場されています (証券コード : 7735)。ホームページ : www.screen.co.jp

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは6月23日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：渡辺徹）は1979年10月に設立。大阪支店ほか12のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合（Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831）
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
